

気象学会「気象用語検討委員会」について

気象学会第30期第1回理事会で「気象用語検討委員会」を設ける事になり、二宮が主担当者に指名されました。この「気象用語検討委員会」の件は、28期の小倉理事からの「英語気象用語の適当な訳語が必要」との提案（「天気」1996年43巻3号194～195ページ参照）に端を発していますが、28、29期理事会では具体的な議論はされぬまま、30期に先送りされたものです。このような一般論の他、具体的には、既刊の用語集の改訂も求められています。

今すぐ闇雲に具体的な作業に入る前に「用語、訳語の意義、必要性（誰が、どのレベルで、どの目的で）、現在の問題点（誰が、どの場合で、どんな不便、どんな混乱か）等々」を明確にすべきかと考えます。このた

めに当面、下記のメンバー（順不同、敬称略）により小人数の委員会を組織しました：

新野宏（東京大学海洋研究所）、山岸米二郎（高度情報科学技術研究機構）、村上正隆（気象研究所）、村松照男（気象庁予報課）、丸山健人（東京学芸大学）、二宮洸三（東京大学気候システム研究センター）。

9月より上記の基本問題につきアドホック的な検討を始めております。基本方針が固まり、実作業段階に入る場合には多人数の協力をおおぎます。検討の節目ごとに、委員会の見解を天気に公表し、会員からの御意見を伺うつもりです。勿論、皆様の御意見はこれにこだわらず何時でも伺います。

（担当常任理事 二宮洸三）

© 1998 日本気象学会

日本気象学会および関連学会行事予定

行事名	開催年月日	主催団体等	場所	備考
流れの現象とその解明 — 流体力学の新発展 —	1998年11月9日 ～10日	日本流体力学会 (協賛) 日本気象学会 他	工学院大学新宿校舎 (新宿区西新宿1-24-2)	〒152-0011 目黒区原町1-16-5 (社)日本流体力学会 TEL: 03-3714-0427
第13回「大気と科学」シンポジウム セッション名： — 生きている地球の新しい見方 — — 地球・生命・環境の共進化 —	1998年11月21日 ～22日	公開シンポジウム組織委員会 (後援) 日本気象学会 他	有楽町 朝日ホール	〒100-0013 千代田区霞ヶ関3-2-2 文部省学術国際局学術情報課 TEL: 03-3581-4211(内)2591
風工学シンポジウム	1998年12月2日 ～4日	日本学術会議災害工学研究連絡委員会、土木学会、日本気象学会、他	日本学術会議講堂 (港区六本木7-22-34)	「天気」45巻2月号
第12回数値流体力学シンポジウム	1998年12月21日 ～23日	日本数値流体力学学会 (後援・協賛) 日本気象学会 他	中央大学理工学部春日キャンパス(文京区春日)	
風に関するシンポジウム	1998年12月22日	日本気象学会 他10学会	東京大学海洋研究所 (東京都中野区)	「天気」45巻8月号
第48回理論応用力学講演会	1999年1月25日 ～27日	日本学術会議 (共催) 日本気象学会 等	日本学術会議 (港区六本木7-22-34)	「天気」45巻6月号